

組織現勢 (7月1日現在)

組合員数 18,938 世帯  
 出資口数 86,914 口  
 6月の新規加入 12 世帯  
 6月の増資口数 493 口

No. 352 再生紙を使用しています。



発行所  
**城南保健生活協同組合**  
 本部事務局 大田区大森東4-6-15-101  
 TEL (3762) 0266  
 振込銀行 さわか信用金庫大森支店  
 口座(普) 0469459  
 発行 「城南の保健」編集委員会  
 毎月1回発行・定価1部 30円

# 福祉・防災都市東京をめざし 住み続けられるまちづくりと仲間づくりで いのちとくらしを守る架け橋になろう

第37回  
 通常総代会  
 6月30日(土)



すべての議案が賛成多数で採択されました

すべの議案が賛成多数で採択されました。創立から今日まで、たくさんの組合員が増えましたが、残念ながら転居してしまつた方もいます。そうした方の中には名簿の中だけの組合員になつてしまつている方もいるので、それでは実力を発揮することはできない、実態に合うように組織を強化しようという

立場から、2年続けて長期住所不明の組合員を整理することになりました。本来ですと2万人以上の組合員がいるのですが、そのために2万人を切ることにしました。しかし、これは数が少なくなつてしまつたというふうには思はず、団結する力のためにつたのだ、というふうにご理解いただきたいと思います。

さて、さまざまに報道を見ていると、実際に私たちのくらしに関わるような問題を、本当に国民の立場になって伝えてくれるのだろうか?と考えると疑問に思わざるを得ません。今のメディアというのは国民を無視しているといふことが言えるのではないかと思います。

どの一般紙も今の政権と一緒になつて消費税増税やTPP問題にしても、正しく国民に伝えていない。むしろ公約になつたことを平気でやっていると政府が、国会を無視して決めたことに拍手をしているというのが実態ではないかと思つています。私はこういう政治をなんとしても、組合員のみなさんと一緒になつて変えていかなければならないと思つています。そして城南保健生協をさらに大きく、力のあつたものにしていきたいと思つています。

発足して2年になります。毎月第2水曜日、羽田2丁目のアクティブルームで開催しています。5人から出発し、現在は14人程度、口コミで盛んになってきました。

昨年の夏は熱中症が流行つていたので、体操をする前に熱中症の注意点を教わりました。体操に来る方の中には高齢の方も多いので、その方には体操の後夕方まで体を休めてから帰ってもらいました。8月には大田歯

科から講師を招き、歯の磨き方などを指導してもらいました。10月には「生協組合員活動と医療・介護活動交流会」に新大田病院の見学もかねて参加しました。12月には会場にこれ以上は入れないほどの人数となりました。お菓子の差し入れもあり、和やかな雰囲気となりました。

今年に入つてからは、「ころばん体操」を行いました。しかし「少しきつかった」「腰が痛い」などの声もあり、「これからは基本的な軽い体操がいい!」ということがわかりました。

4月からグループを中心にした、肩こり予防の体操にしてみました。会のメンバーは「このくらいの楽な体操が一番いいよね」とみんな納得つてから話をしました。



東日本大震災、そして福島第1原発事故から1年4カ月になるうとしています。城南3法人では、被災地への支援活動をこの1年数カ月間、一貫して続けてきました。

本総代会のスローガンは全国の民医連の共通の課題でもあります。私もはこのスローガンに沿つてこの1年間活動をしてきました。

ご存じのように、いのちとくらしを守る「よろずなんでも相談会」を毎週月曜・金曜日まで行つていきます。みなさんから頼りにされる相談会になつてきています。スローガンにもある「いのちとくらしを守る架け橋になろう」、これは本当に大切なことではないかと思つております。

さて、城南保健生協はたいへん大きな生協として発展してきました。しかし、創立から今日まで、たくさんの組合員が増えましたが、残念ながら転居してしまつた方もいます。そうした方の中には名簿の中だけの組合員になつてしまつている方もいるので、それでは実力を発揮することはできない、実態に合うように組織を強化しようという

さて、城南保健生協はたいへん大きな生協として発展してきました。しかし、創立から今日まで、たくさんの組合員が増えましたが、残念ながら転居してしまつた方もいます。そうした方の中には名簿の中だけの組合員になつてしまつている方もいるので、それでは実力を発揮することはできない、実態に合うように組織を強化しようという

立場から、2年続けて長期住所不明の組合員を整理することになりました。本来ですと2万人以上の組合員がいるのですが、そのために2万人を切ることにしました。しかし、これは数が少なくなつてしまつたというふうには思はず、団結する力のためにつたのだ、というふうにご理解いただきたいと思います。

さて、さまざまに報道を見ていると、実際に私たちのくらしに関わるような問題を、本当に国民の立場になって伝えてくれるのだろうか?と考えると疑問に思わざるを得ません。今のメディアというのは国民を無視しているといふことが言えるのではないかと思います。

どの一般紙も今の政権と一緒になつて消費税増税やTPP問題にしても、正しく国民に伝えていない。むしろ公約になつたことを平気でやっていると政府が、国会を無視して決めたことに拍手をしているというのが実態ではないかと思つています。私はこういう政治をなんとしても、組合員のみなさんと一緒になつて変えていかなければならないと思つています。そして城南保健生協をさらに大きく、力のあつたものにしていきたいと思つています。

発足して2年になります。毎月第2水曜日、羽田2丁目のアクティブルームで開催しています。5人から出発し、現在は14人程度、口コミで盛んになってきました。

昨年の夏は熱中症が流行つていたので、体操をする前に熱中症の注意点を教わりました。体操に来る方の中には高齢の方も多いので、その方には体操の後夕方まで体を休めてから帰ってもらいました。8月には大田歯

科から講師を招き、歯の磨き方などを指導してもらいました。10月には「生協組合員活動と医療・介護活動交流会」に新大田病院の見学もかねて参加しました。12月には会場にこれ以上は入れないほどの人数となりました。お菓子の差し入れもあり、和やかな雰囲気となりました。

今年に入つてからは、「ころばん体操」を行いました。しかし「少しきつかった」「腰が痛い」などの声もあり、「これからは基本的な軽い体操がいい!」ということがわかりました。

4月からグループを中心にした、肩こり予防の体操にしてみました。会のメンバーは「このくらいの楽な体操が一番いいよね」とみんな納得つてから話をしました。

5月もグループ体操を重点的に行いました。これからは気候がよくなり汗ばむ季節になるので水分補給も必要になってきます。夏に向けて体調を管理するようになければなりません。

充実した体操をやっています。あいかわらず「あつちが痛い、こつちが痛い」と言いながらもみんな和気あいあいとやっています。

## 小関直彦理事長あいさつ

城南保健生活協同組合第37回通常総代会が6月30日(土)、大田区民ホールアブリコ展示室で行われました。お忙しい中お越しいただいた来賓のみなさまに心よりお礼申し上げます。また当日は総代のみなさんに熱心に討議していただき、2012年度活動方針(案)、予算(案)など9号にもおよぶ議案を賛成多数で採択することができました。

そして今回は、2011年度拡大(仲間増やし)発表を行い、目標達成に向け奮闘した支部や組合員、職員の紹介をしました。また役員改選期でもあり、新体制となつてより一層がんばつていくことを確認しました。

今総代会を大きな力とし、地域における幅広い対話をすすめる、誰もが安心して住み続けられるまちづくり運動を広げていきます。

立場から、2年続けて長期住所不明の組合員を整理することになりました。本来ですと2万人以上の組合員がいるのですが、そのために2万人を切ることにしました。しかし、これは数が少なくなつてしまつたというふうには思はず、団結する力のためにつたのだ、というふうにご理解いただきたいと思います。

さて、さまざまに報道を見ていると、実際に私たちのくらしに関わるような問題を、本当に国民の立場になって伝えてくれるのだろうか?と考えると疑問に思わざるを得ません。今のメディアというのは国民を無視しているといふことが言えるのではないかと思います。

どの一般紙も今の政権と一緒になつて消費税増税やTPP問題にしても、正しく国民に伝えていない。むしろ公約になつたことを平気でやっていると政府が、国会を無視して決めたことに拍手をしているというのが実態ではないかと思つています。私はこういう政治をなんとしても、組合員のみなさんと一緒になつて変えていかなければならないと思つています。そして城南保健生協をさらに大きく、力のあつたものにしていきたいと思つています。

## 中期計画5年目としての2012年度重点課題

- ① 東日本大震災の被災地・被災者の救援、復興支援を日常活動に位置づけ、ねばり強い支援活動と社会保障制度の拡充、原発ゼロに向けた自然エネルギー政策への転換などを様々な団体・個人と協力してすすめよう
- ② 2012年の医療・介護の同時改定に機敏に対応し、薬局・グループホーム・ヘルパーステーション事業を軌道に乗せ、保健・医療・介護・福祉の充実で安心して住み続けられるまちづくりをすすめよう
- ③ 貧困と格差がますます拡大する中で、無料低額事業を行う大田病院・大森中診療所・大田歯科との連携を強め、よろず相談や青空健康相談会などでの相談活動を重視し、経済的理由での受診控えや孤立死をなくすとりくみをひろげよう
- ④ 地域(購買)生協やNPO法人などとの連携、とりわけ介護事業所との共同をいっそう強めて、日常的に地域を見守るネットワークを拡げるとともに、「お元気ですか訪問」を継続し、幅広い年齢層が参加できる健康づくり、助け合い活動で頼りになる保健生協をめざそう
- ⑤ 消費税増税と一体になった社会保障の後退をくい止め、国民健康保険料の減免・引き下げ、高齢者医療制度の廃止、年金制度の改善、TPP参加反対をはじめとした国民的運動をすすめよう
- ⑥ 青空健康相談会、健康体操・ころばん体操班会、認知症サポーター養成講座、健康講座など、多彩な班会・学習会などを旺盛に開催し、班づくり・各支部活動の強化をすすめて、地域・職域まるごと健康づくり運動をひろげよう
- ⑦ 区民健診やがん検診をはじめとした自治体健診、アスベスト検診、予防接種などの無料化・拡充を求めて自治体への働きかけを強めよう

## 第37回通常総代会発言(要旨)

### 羽田生きいき 体操班の活動



羽田秋中支部  
 戸張 洋子さん

科から講師を招き、歯の磨き方などを指導してもらいました。10月には「生協組合員活動と医療・介護活動交流会」に新大田病院の見学もかねて参加しました。12月には会場にこれ以上は入れないほどの人数となりました。お菓子の差し入れもあり、和やかな雰囲気となりました。

今年に入つてからは、「ころばん体操」を行いました。しかし「少しきつかった」「腰が痛い」などの声もあり、「これからは基本的な軽い体操がいい!」ということがわかりました。

4月からグループを中心にした、肩こり予防の体操にしてみました。会のメンバーは「このくらいの楽な体操が一番いいよね」とみんな納得つてから話をしました。

5月もグループ体操を重点的に行いました。これからは気候がよくなり汗ばむ季節になるので水分補給も必要になってきます。夏に向けて体調を管理するようになければなりません。

充実した体操をやっています。あいかわらず「あつちが痛い、こつちが痛い」と言いながらもみんな和気あいあいとやっています。